

第3回栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時・場所	令和6年1月23日（火） 午後6時30分～午後7時30分 栗東市危機管理センター3階大研修室
出席委員	山守慎介委員、中藪麻衣子委員、外戸保貴美子委員、白井洋一委員、井上明美委員、山中忍恵委員、沖田文子委員、山本初子委員（副会長）、井上和子委員（会長）、中川章子委員、北村一子委員、長岡由美委員
欠席委員	伊吹唯衣委員、加藤雅也委員、田中裕委員、木築野百合委員
事務局	こども家庭局長、幼児課長、幼児課参事、幼児課係長、こども家庭センター所長、こども家庭センター係長、子育て支援課長、子育て支援課係長、子育て支援課子育て支援係担当
事 項	1 開会 2 市民憲章唱和 3 挨拶 4 議事 （1）第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査の実施について【資料1～資料3】 （2）民設学童保育所の設置について【資料4】 （3）認定こども園の設置について【資料5】 5 その他 6 閉会

- 1 開会
 - ・事務局より傍聴希望者がいなかったことを報告した。

- 2 市民憲章唱和

- 3 挨拶
 - ・会長が挨拶を行った。

- 4 議事
（議事1）

第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定について【資料1～資料3】

- ・事務局が資料の説明を行った。

会 長 過去にアンケート調査に回答した経験がある委員がおられれば、感想等伺いたい。

委 員 過去に回答した感想としては、設問数が多く、子育て中であり、回答するのが大変だったという記憶がある。

副 会 長 アンケートの回収率はどのくらいを見込んでいるのか。また、前回調査時には大体どのくらいの回収率だったのか。

- 事務局 前回の調査時は、53%程度の回収率であった。子育てに関するアンケートであり、他のアンケート調査よりは回答率が高い結果となった。今回の調査についても、工夫をしながら調査票の作成にあたっている。
- 今回からはニーズ調査票にQRコードを記載し、WEB回答にも対応することで、紙回答かWEB回答か、選択していただけるようにしている。育児中の回答者に、空いた時間に少しずつ回答していただけるようにすることで、回収率の上昇に繋がることを期待している。
- 副会長 資料2-2の問12-④について、注意書きとして「「2」を選んだ方は、四角内に希望する年齢をご記入ください」という文言があるが、記入欄は、希望する就労日数や就労時間を記載するように作成されている。この問はどのように回答したらよいのか。
- 事務局 希望する就労日数や就労時間を記載いただく設問ということがわかるよう修正する。
- 会長 資料2-2の質問28～質問33について、WEB回答の場合は、保護者が子どもに質問をして子どもの代わりに回答を入力するのか。
- 事務局 WEB回答の場合は、保護者が子どもに質問をし、子どもの代わりに入力することで回答いただくことを想定している。
- 紙回答の場合は、保護者が子どもに調査票を見せ、子どもと一緒に回答していただくことを想定している。
- 委員 資料2-2の質問31の選択肢2について、ここでの「先生」は児童館の指導員のことを指していると文脈から想定できるが、学校の先生等と誤認する可能性があると考えられるため、「児童館の先生」等と表記した方が丁寧だと感じる。
- 事務局 学校の先生等と混同する恐れがあることから、修正する。

(議事2)

民設学童保育所の設置について【資料4】

- ・事務局が資料の説明を行った。

- 委員 小学校から各学童保育所までの移動はどのように行うのか。また、各事業所のサービス内容等はどのようにになっているのか。
- 事務局 今回、新設される学童保育所については、3か所とも学校から500メートル以内の位置にあり、基本的には徒歩での登所となる。登所時は各学童保育所の職員が迎えに来ることとなっている。特に小学生1年生については、子どもだけの登所は危険が多いことを想定し、必ず学童保育所の職員の付き添いをお願いしている。
- 開所時間等については、3か所とも19時30分までの受入を行うこととなっている。

(議事 3)

認定こども園の設置について【資料 5】

- ・事務局が資料の説明を行った。

会 長 令和 7 年 4 月からの開園ということで、工事が進んでいるのか。

事 務 局 今回選定された事業者は、令和 6 年 3 月までに社会福祉法人の法人格を取得した上で、開発許可や建築確認の手続きを進め、令和 6 年 6 月頃より工事着手を予定している。

5 その他

次回の会議日程について

- ・次回の会議は、3 月 1 9 日に開催する予定をしている。

6 閉会

- ・副会長が挨拶を行った。

以上